

スラリー状のコンクリート取扱い作業 リスクアセスメントシート

実施日 年 月 日

| | | | | | | |
|-------------------------------------|---|---|---|---|---|---|
| 業者名 | | 作業内容 | | | 保護具着用管理責任者 | |
| メーカー | | 製品名 | | | 化学物質名 | 下表にチェックを入れる |
| 作業所名 | | 作業期間 | | | SDSシートの有無 | 有 ・ 無 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 成分名（別名） | CAS RN | リスクアセスメント対象物質 | 発がん性物質 | 皮膚等障害化学物質 | GHSラベル |
| <input type="checkbox"/> | 酸化カルシウム（生石灰） | 1305-78-8 | ○ | | ○ |    |
| <input type="checkbox"/> | 水酸化カルシウム（消石灰） | 1305-62-0 | ○ | | ○ |    |
| <input type="checkbox"/> | 二酸化ケイ素（シリカ） | 7631-86-9 | ○ | 区分1A | |   |
| 有害性 |     | ○重篤な皮膚の薬傷 | | | | |
| | | ○重篤な眼の損傷 | | | | |
| | | ○飲み込む、吸入する又は皮膚に接触すると生命に危険あるいは有毒 | | | | |
| | | ○セメントは水と接触すると、強いアルカリ性を示し、 皮膚や眼の粘膜を腐食 する。 | | | | |
| | | ○手や足に付いてから 長時間放置すると、皮膚が溶けて 、治療に数か月を要する場合がある | | | | |
| | | ○打設したコンクリートに雨水等が溜まると、その水もアルカリ性になるので、肌を腐食する。 | | | | |
| | | ○遺伝性疾患および発がんのおそれ | | | | |
| | | ○強い眼刺激、皮膚刺激アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ | | | | |
| 緊急時の対応 | | ○皮膚に付着した場合はすぐに拭き取り、大量の水で洗い流す。痛みや皮膚の赤み、炎症等が出た場合、速やかに医師の診断を受ける。 | | | | |
| | | ○眼に入った場合直ちに清浄な流水で数分間洗眼した後、医師の処置を受ける。 | | | | |
| リスクを軽減する対策 | | | | | | |
| 種別 | 作業内容 | 防護手袋 | 保護メガネ | 作業服 | 安全靴 | |
| ① | コンクリート打設等作業 | 天然ゴム製等の手袋を使用する。（手首が出ないような長さのものを使用する。また手袋の口からスラリーが入らないようにする。スラリーが中に入った場合には、手袋を取り替える。 （軍手は適さない。） ） | 側板（サイドシールド）付き保護眼鏡を使用する。 | 皮膚が露出せず、モルタル等が浸透しない服を使用する。 首元が開かないように注意する。 （夏季においては、熱中症対策が必要） 液体が染みない服を使用する。 | 液体が染みない安全靴を使用する。 靴の中にスラリーが入らない形の長靴を使用する。 （コンクリート等の深さに注意） | |
| ② | モルタル塗り等作業 セメント水等が付着する可能性がある作業 | | | | | 靴の中にスラリーが入らない形の長靴を使用する。 （コンクリート等の深さに注意） |
| ③ | だめ直し等少量のモルタルを使用する補修作業 | | モルタルが飛散することが予想される場合には、側板（サイドシールド）付き保護眼鏡を使用する。 | 皮膚が露出しない服を使用する。 （夏季においては、熱中症対策が必要） | 靴の中にスラリーが入らない形の長靴を使用する。 | |
| 作業員のサイン | | | | |  | |
| 元請確認 | | | | | | |